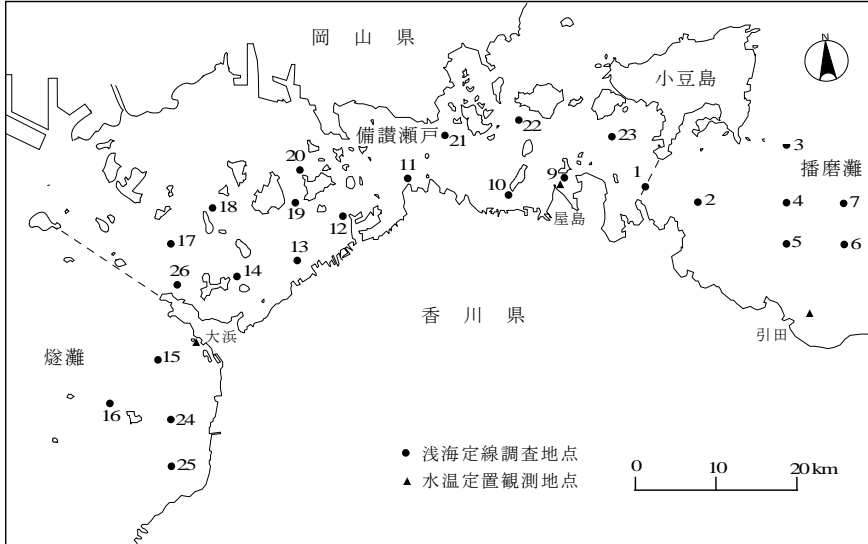


香川県漁海況情報 平成 29 年 5 月 (H29-2 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 29 年 5 月 1 日 (播磨灘), 5 月 2 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「やや低め」から「平年並み」、透明度は「やや低め」から「平年並み」、溶存酸素は「平年並み」から「やや高め」であった。

5月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	14.9	14.3	12.5	31.9	31.9	32.1	9.3	5.92	5.68
	平年値	14.3	13.4	12.2	32.3	32.4	32.5	9.2	5.98	5.44
	平年偏差	0.5	0.9	0.3	-0.4	-0.5	-0.4	0.1	-0.06	0.24
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	1.0	0.5	0.5	0.5	2.9	0.47	0.44
	状況	平年並み	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	15.2	15.0	15.0	32.4	32.3	32.3	5.2	5.92	5.86
	平年値	14.5	14.1	14.0	32.6	32.7	32.7	5.7	5.62	5.59
	平年偏差	0.7	0.9	0.9	-0.3	-0.3	-0.3	-0.5	0.30	0.27
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	1.8	0.45	0.43
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	16.6	15.1	13.3	32.6	32.7	32.9	8.5	5.98	5.09
	平年値	15.9	14.1	13.3	32.8	33.0	33.2	10.4	5.69	5.19
	平年偏差	0.7	1.0	0.0	-0.2	-0.4	-0.3	-1.9	0.29	-0.10
	標準偏差(σ)	1.3	1.3	1.5	0.4	0.4	0.4	3.0	0.39	0.49
	状況	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶存酸素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

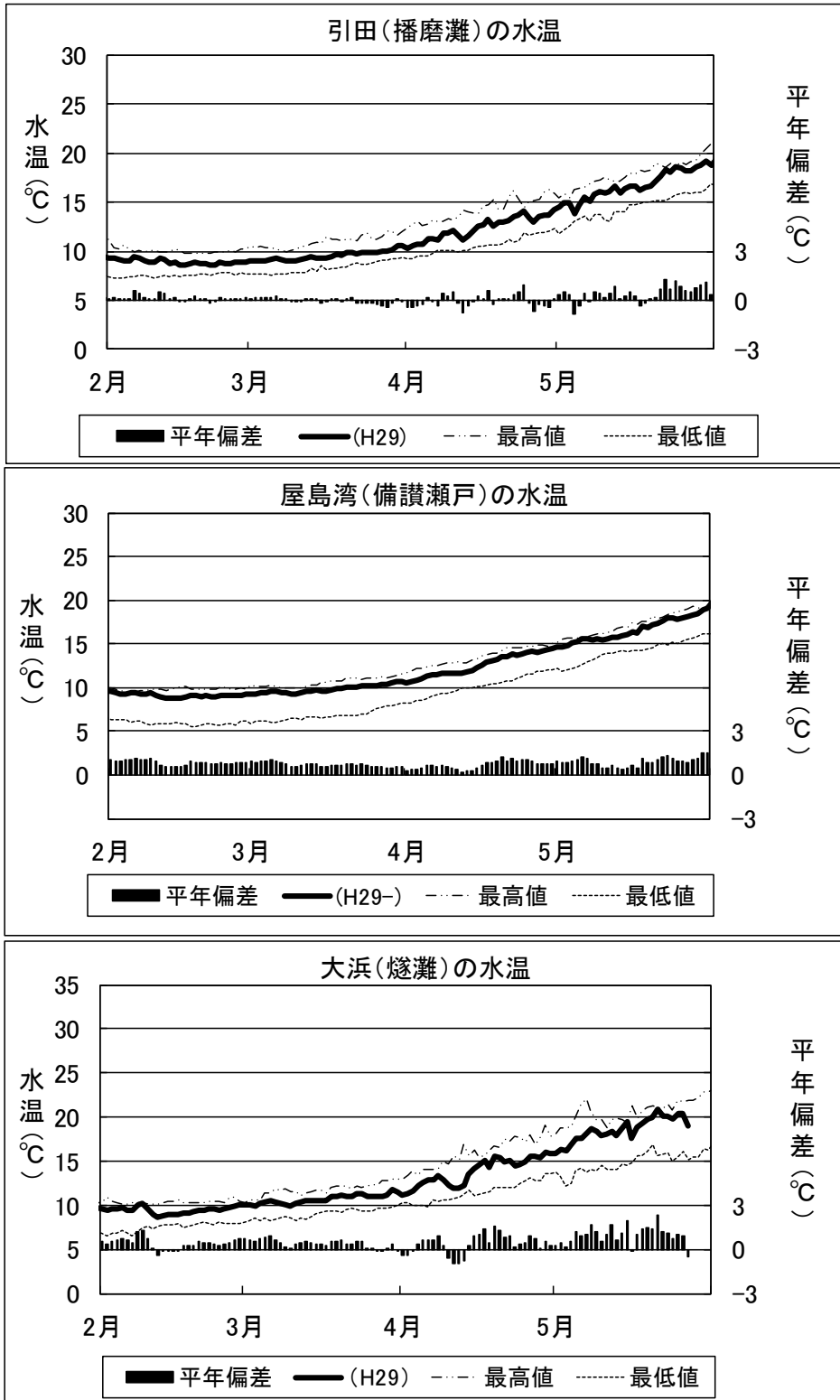
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 2月は平年並みからやや高め, 3,4月は概ね平年並み, 5月は平年並みからかなり高めで推移している。(5月下旬に1日, 過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 2月はやや高めからかなり高め, 3月は概ねやや高め, 4月は平年並みからやや高め, 5月は平年並みからかなり高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 2,3月は平年並みからやや高め, 4月はやや低めからやや高め, 5月は平年並みから著しく高めで推移している。(5月中旬に1日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 28 (2016) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 28 (2016) 年



4) 赤潮 (5月1日~5月31日)

播磨灘：5月18日に小豆島南東部で、*Noctiluca scintillans*による着色域が確認された。
 備讃瀬戸：発生なし
 燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：平成29年5月1日(播磨灘)，5月2日(備讃瀬戸，燧灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	169.8	9.8	0.0	0.0	13.3	4.5
	平年値	13.9	1.2	2.1	0.1		
	対平年(%)	1,221.5	811.6	0.0	0.0		
備讃瀬戸	平均値	33.2	8.3	0.0	0.0	88.9	11.3
	平年値	2.1	0.4	0.1	0.1		
	対平年(%)	1,580.2	1,978.4	0.0	0.0		
燧灘	平均値	154.7	8.6	0.0	0.0	14.0	0.9
	平年値	57.8	4.2	0.8	0.6		
	対平年(%)	267.7	205.8	0.0	0.0		
総平均	平均値	98.0	8.7	0.0	0.0	51.3	7.1
	平年値	18.2	1.5	0.8	0.2		
	対平年(%)	537.1	581.8	0.0	0.0		

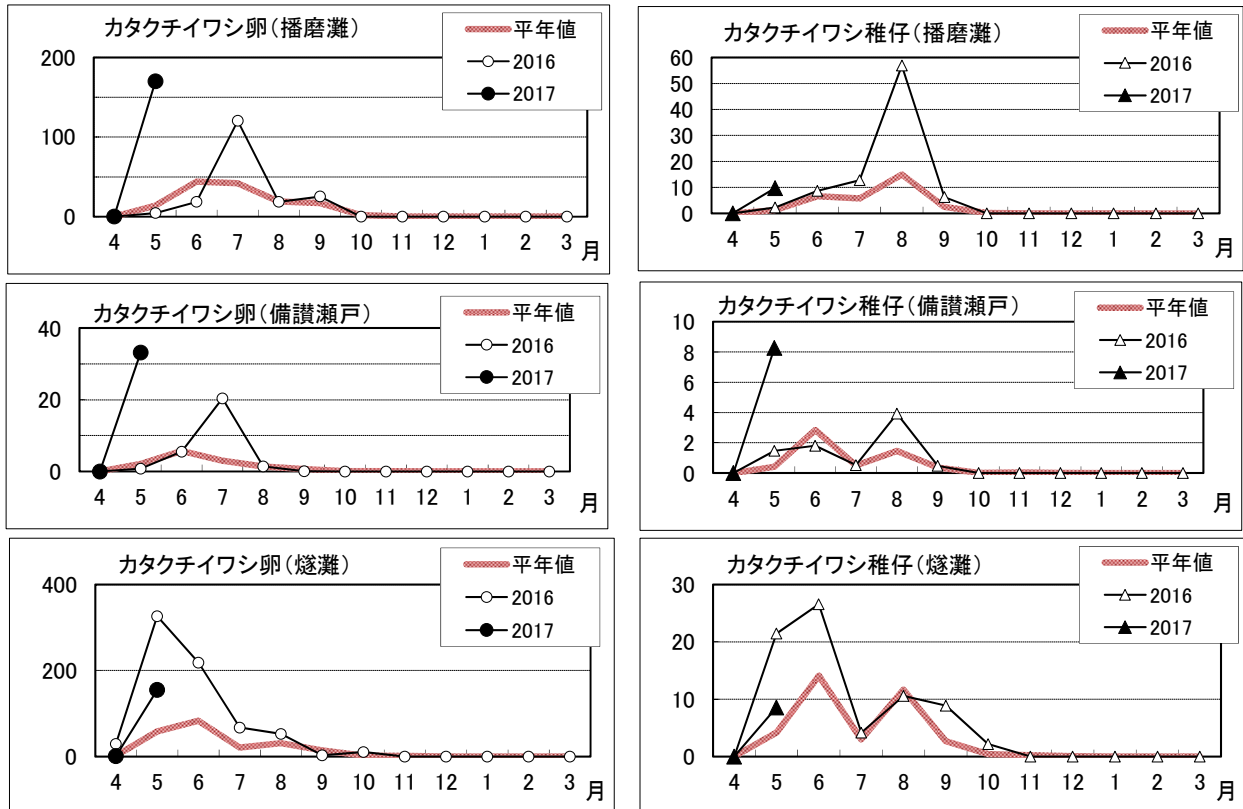
ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度~平成28(2016)年度

マイワシ：平成6(1994)年度~平成28(2016)年度

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



2. 漁況

1) 4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、イヌノシタ、オニオコゼ、カサゴ、マゴチ、アカエイ、コウイカ、アカガイ、トリガイ、ツメタガイ、タイラギ、ヨシエビ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>柵網では、マアジ、マルアジ、マイワシ、マサバ、コノシロ、マダイ、クロダイ、コショウダイ、イシダイ、アイゴ、ボラ、シログチ、アカカマス、エソ、キュウセン、ウマヅラハギ、カワハギ、コモンフグ、メバル、カサゴ、キジハタ、シロギス、テンジクダイ、マコガレイ、ヒラメ、イヌノシタ、ハモ、コウイカ、シリヤケイカ、カミナリイカ、ミミイカ、クルマエビなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、メバル、カサゴ、タケノコメバル、ヨロイメバル、キジハタ、クジメ、キュウセン、シロギス、スズキ、マダイ、クロダイ、メジナ、ウミタナゴ、アイゴ、マアジ、コブダイ、ウマヅラハギ、カワハギ、マコガレイ、メイタガレイ、イヌノシタ、マアナゴ、マダコ、コウイカなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、コウライアカシタビラメ、セトウシノシタ、マアナゴ、ハモ、シロギス、アイナメ、カサゴ、オニオコゼ、ネズツポ類、キュウセン、マダイ、クロダイ、スズキ、マアジ、セトダイ、コイチ、コノシロ、アカエイ、コブダイ、マダコ、テナガダコ、コウイカ、シリヤケイカ、カミナリイカ、ベイカ、スルメイカ、アカニシ、ツメタガイ、タイラギ、小エビ類、クルマエビなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、メバル、アイナメ、クジメ、ウミタナゴ、コブダイ、マコガレイ、キュウセン、オニオコゼ、メイタガレイなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、イヌノシタ、スズキ、サワラ、カタクチイワシ、オニオコゼ、マダイ、クロダイ、シロギス、ナシフグ、ウマヅラハギ、アカカマス、ネズツポ類、ハモ、シログチ、アカハゼ、エソ、ボラ、マダコ、コウイカ、ベイカ、ミミイカ、小エビ類、クルマエビ、シャコ、ガザミなどが漁獲されている。</p>
香 川 県 全 域 (サワラ)	<p>4月20日から流しさし網の春漁が開始された。香川県魚市場（株）における銘柄別の取扱状況（込網、釣りを含む）は次のとおり。</p> <p>サワラ銘柄：4月26日から5月1日にかけて、例年に比べて込網による漁獲がたいへん多かったため、尾数が急増し、2,000尾を超えた。その後、流しさし網による漁獲も増えて、1,000～2,000尾で推移したが、連休後は減少し、過去2年より少なく推移している。5月16日までの合計尾数は、24,666尾（H28：30,062尾、H27：28,861尾）、込網を除いた場合は21,820尾（H28：28,163尾、H27：28,079尾）と過去2年より少なくなっている。</p> <p>サゴシ銘柄：4月26日から5月1日にかけて、例年に比べて込網による漁獲がたいへん多かったため、4月末に尾数のピークが生じ、1,400尾を超えたが、その後は急減した。5月16日までの合計尾数は、6,970尾（H28：1,881尾、H27：1,087尾）と過去2年より著しく多く、込網を除いた場合も1,361尾（H28：216尾、H27：273尾）と過去2年より多くなっている。</p>

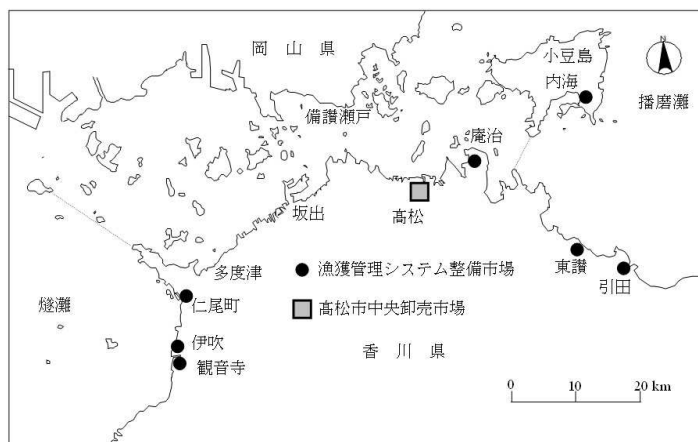
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

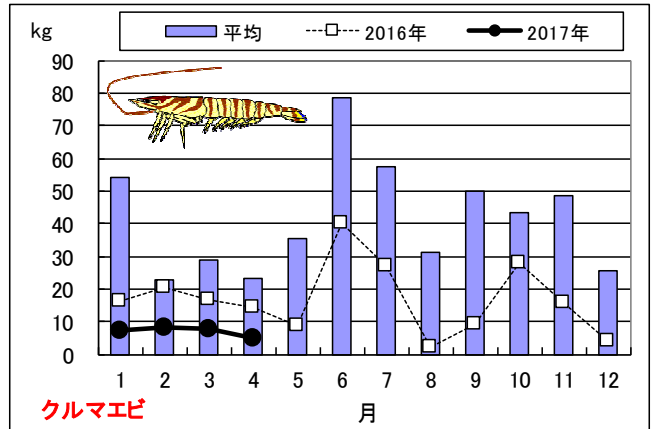
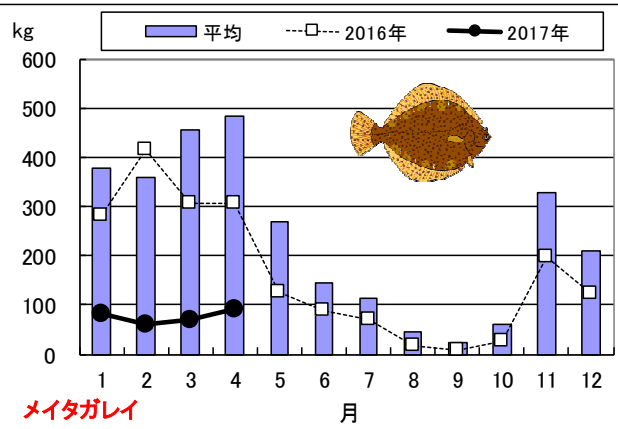
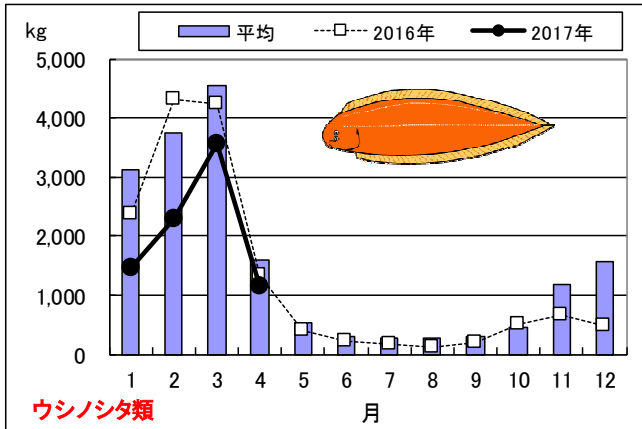
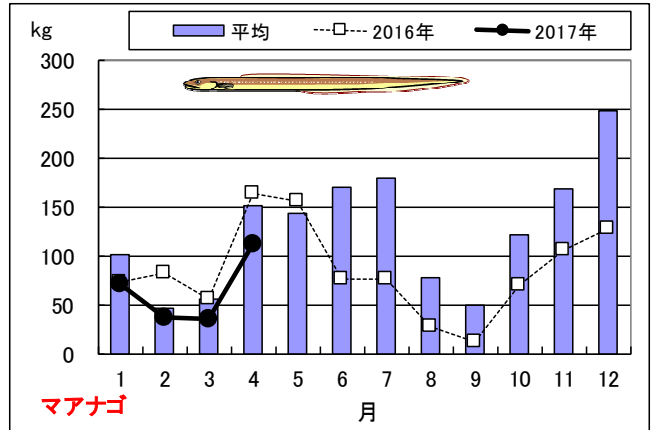
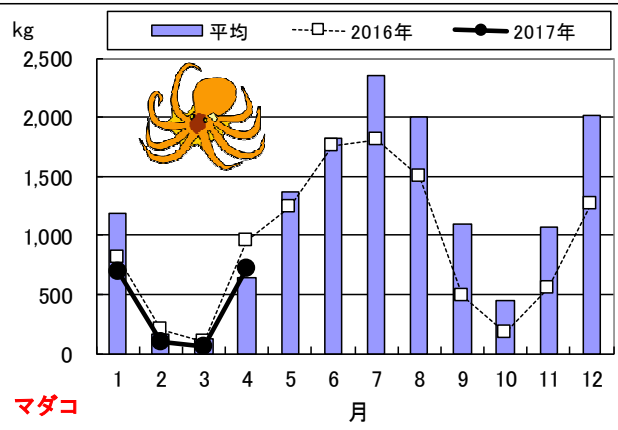
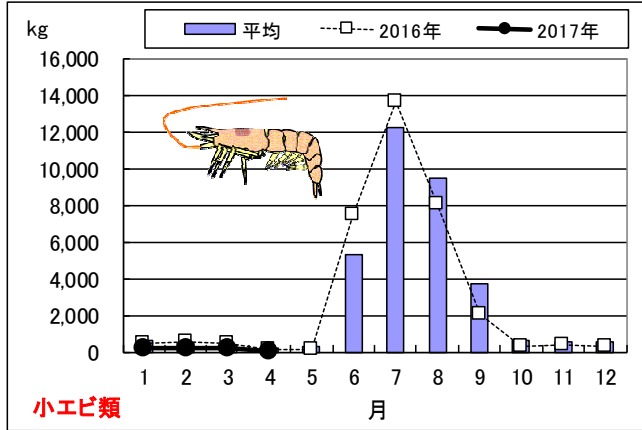
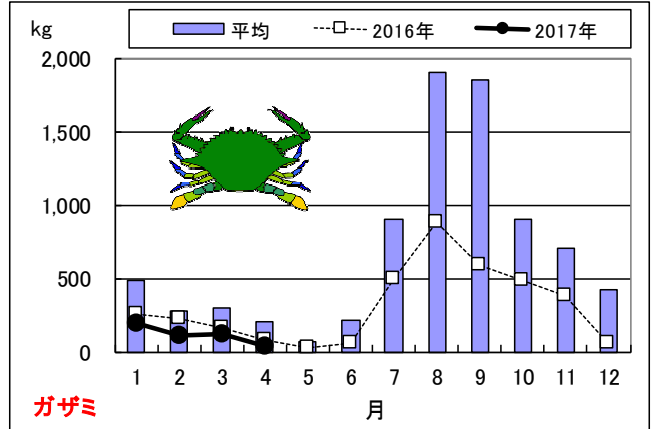
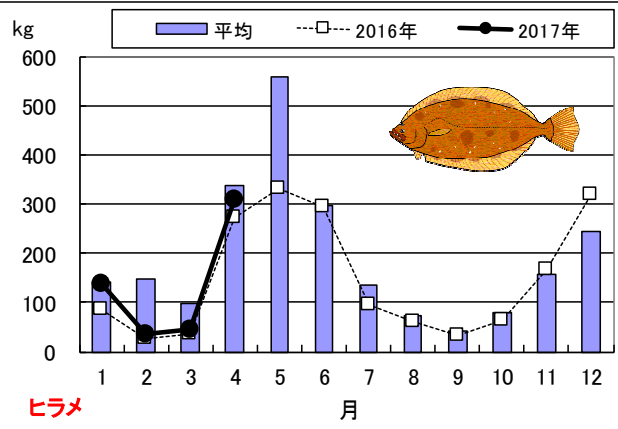
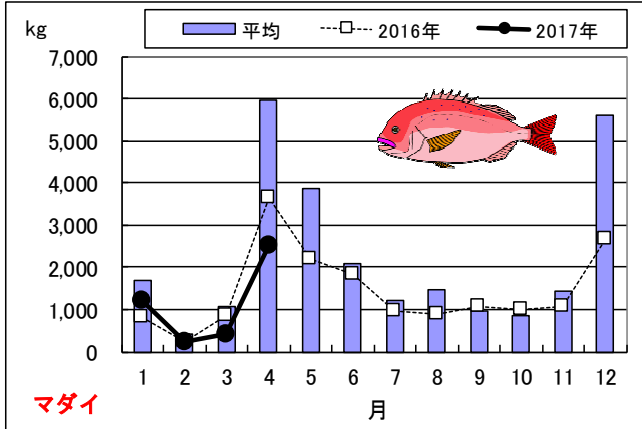
(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体からの集荷物)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



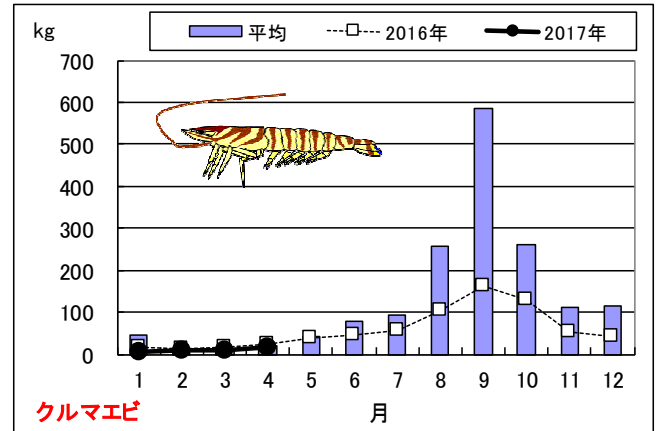
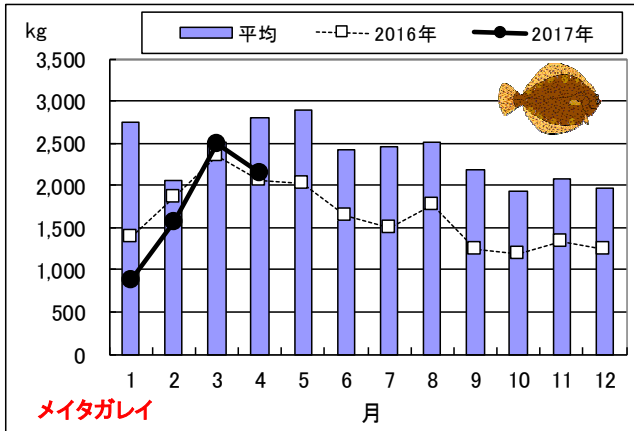
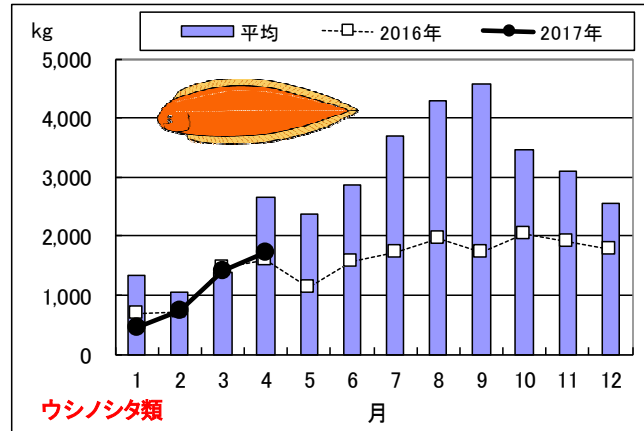
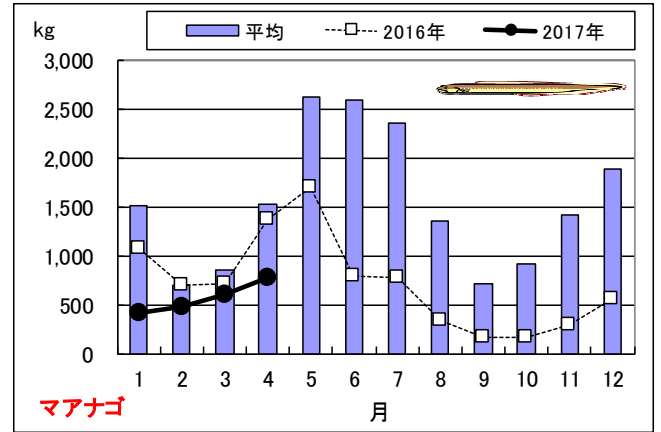
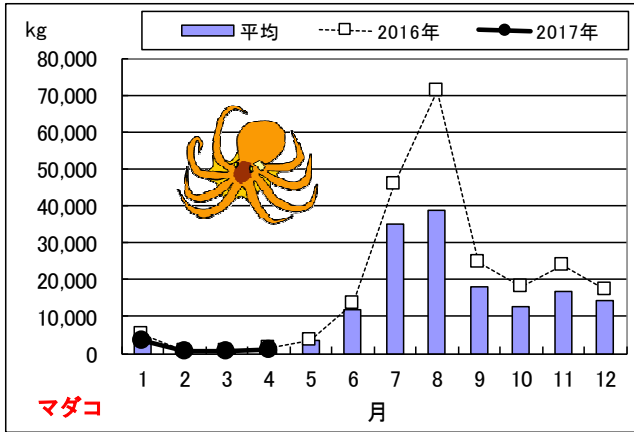
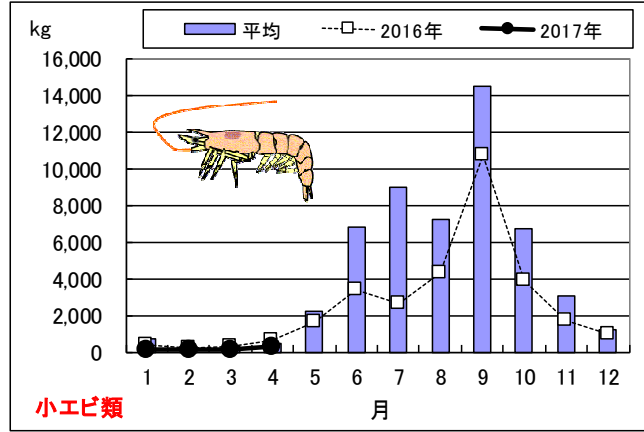
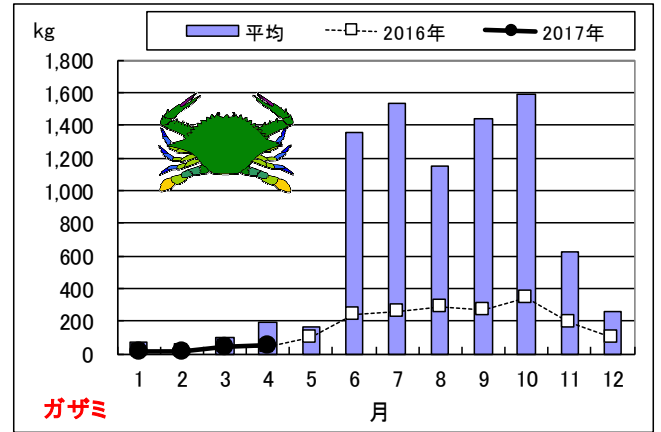
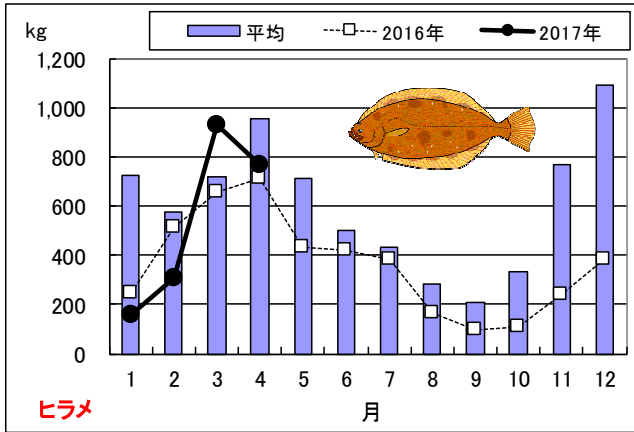
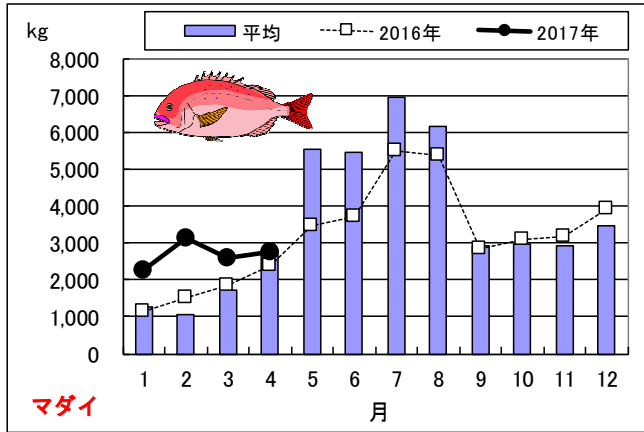
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。



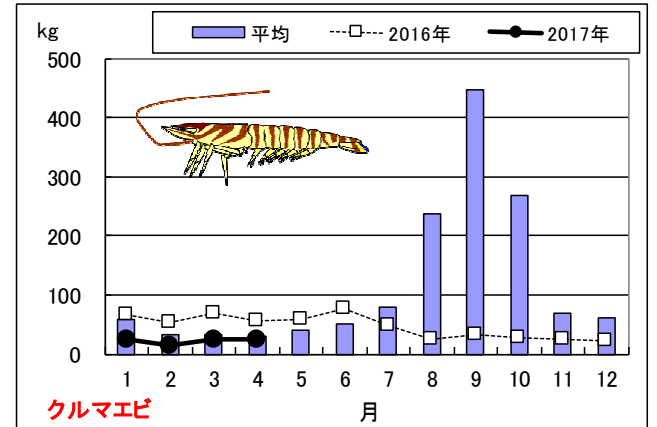
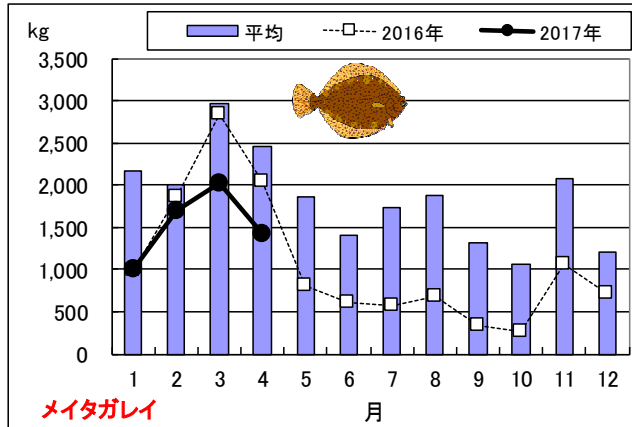
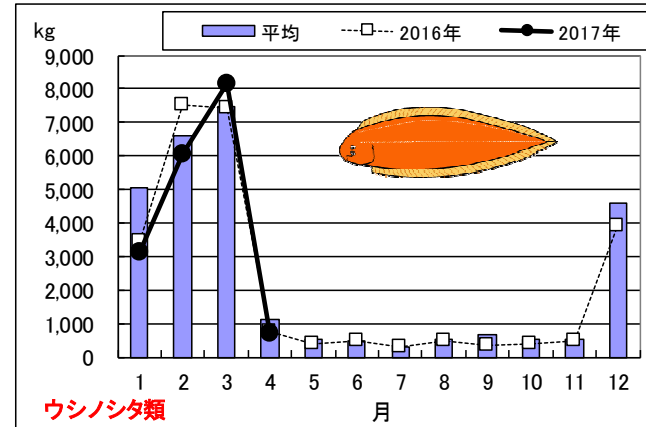
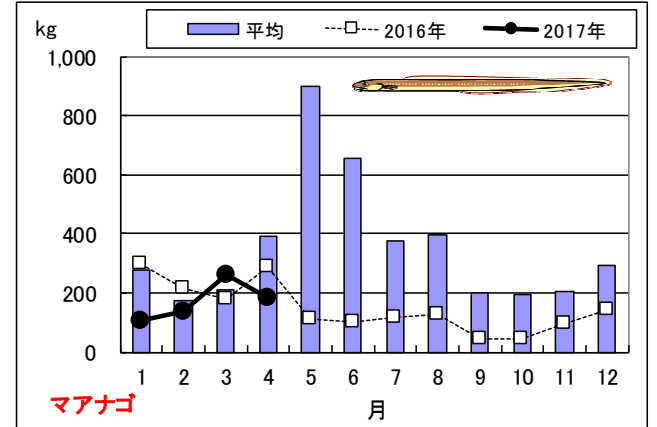
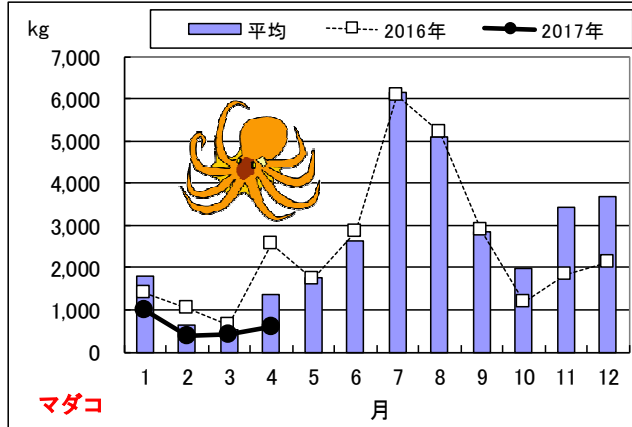
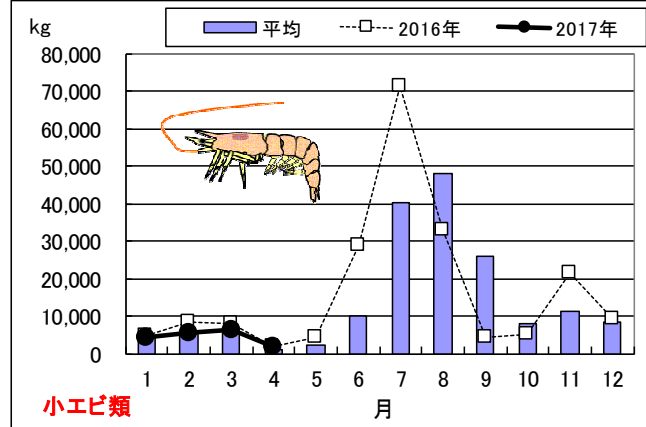
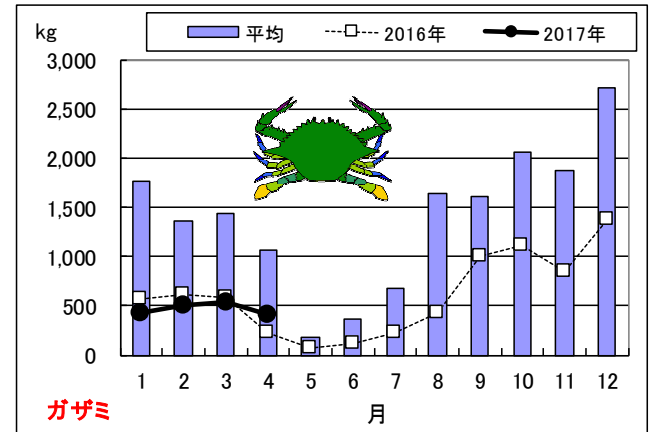
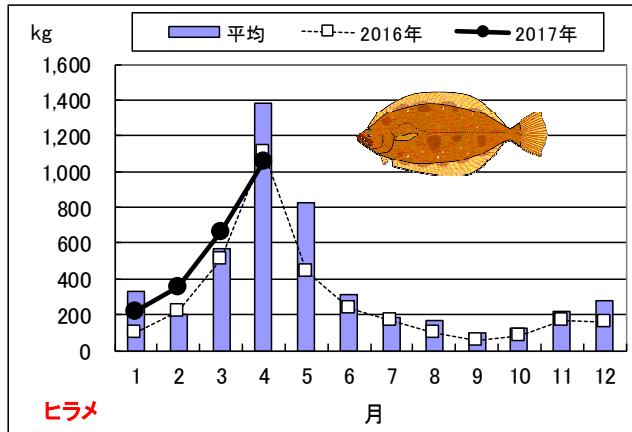
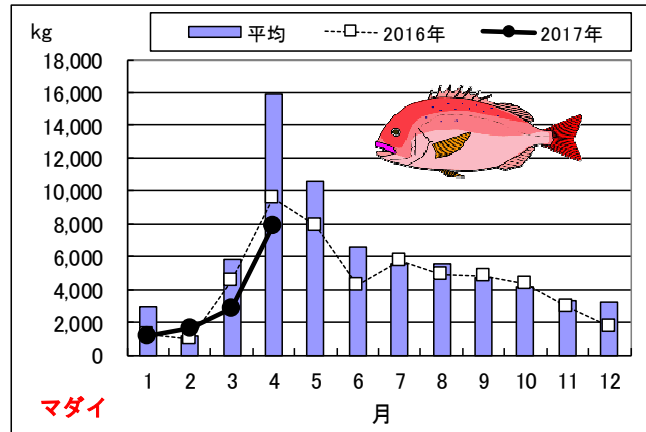
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） T A Cシステムデータより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。

